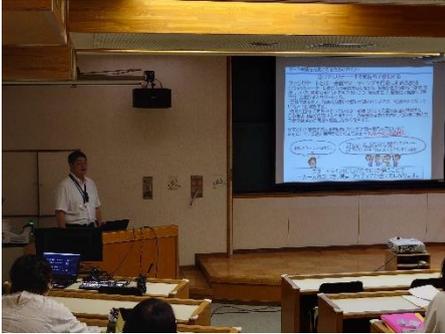


令和6年9月12日(木) 専門研修5「教育相談(応用編)～チームで作る笑顔の相談～」を実施しました。この研修は「教育相談(基礎編)～わかり合うところがスタートライン～」からつながる内容の研修です。基礎編と合わせて多くの希望、受講がありました。

講義1では、「組織的に教育相談を進めるとは」として、基礎編で学んだ「幼児児童生徒の行動の背景・要因を理解すること、背景・要因を指導・支援につなげていくこと」を、いかにチームとして行うか、そのポイントについて「ケース会議」を軸にお伝えしました。



講義2・演習では「教育相談に臨むためのケース会議の進め方」として、グループに分かれ、架空事例を題材に模擬ケース会議を実施しました。講義1でも確認した「目的を明らかにしてケース会議を実施すること」「子どもの姿から考えること」「全員がファシリテートする気持ちで参加すること」「話し合った内容を視覚化すること」をポイントに活発な意見交換が行われました。



講義3は福島県立医科大学看護学部の佐藤利憲先生に「子どもたちが思いを伝えたい人になるために」として、生きづらさを抱える子どもたちとのかかわりについて、障がい理解の重要性や「思いを伝えたい人」であるために大切なことなどのお話をいただきました。公開講座とし、来所、オンラインで多くの参加がありました。



受講者からは、「ケース会議の目的やチームで取り組む力強さを実感できた」「早速明日からの生徒や保護者とのかかわりに活かしていきたい」などの感想が聞かれました。

本講座のサブタイトル「～チームで作る笑顔の相談～」には「チームで対応することで、充実した準備が可能になり、担当者が笑顔になる。」「チームで対応することで、よりニーズに合った教育相談の実施が可能になり、相談者が笑顔になる。」という思いが込められています。受講者が各園・学校の核となり、「チームで作る笑顔の相談」が実現すれば幸いです。